

VLBI運営小委員会報告

藤沢健太(委員長、山口大学)

■ VLBI運営小委員会とは

- 国立天文台が設置する委員会の1つ、電波専門委員会の下部に位置

■ 任期

- 2年。今期は2016年から2018年にかけて。1期中に約6回会議を開催。

■ 構成員(敬称略)

- 天文台内:郷田、小林、齋藤、立松、廣田、本間(副委員長)(6名)+柴田(オブザーバー)
- 天文台外:今井、川畑、関戸、高橋、中井、藤沢(委員長)、嶺重、村田、米倉(9名)

■ 今期の委員会の議論の方針

1. 水沢VLBI観測所が所有する各望遠鏡・アレイの運用方針やそれを用いた研究活動等について、科学的成果を最大化する観点から議論と提言を行う。
2. 水沢VLBI観測所を中心とするVLBIに関連する研究活動の将来的な方向性・計画について、議論と提言を行う。
3. その他水沢VLBI観測所およびVLBIに関連する事項について検討する。

■ 今期の議論の進め方

- 2年間6回の委員会で、次の予定で将来計画の議論を行う。
- 第1回 2016年11月14日 方針決定
- 第2回 2017年2月27日 国内アレイ:VERA, JVNについて報告
- 第3回 2017年5月26日 KaVA, EAVN, NRO45mの多周波・ミリ波VLBI計画について
- 第4回 2017年9月1日 SKA, ngVLAについて報告
- 第5回 2017年12月22日 ミリ波、気球、ミリ波・サブミリ波大型アンテナについて
- 第6回 2018年6月(予定) 議論のまとめ

■ ユーザーとの関係

- 国立天文台は共同利用研究期間であり、大学等の研究機関に所属するユーザーの意見に基づいて、共同利用の研究機会を提供することが運営における基本的な方針である。
- 本小委員会の主な議題は、共同利用のあり方と、将来計画である。
- VLBIに関連する研究について、国立天文台の方針を議論する場の一つがVLBI運営小委員会である。
- 国立天文台のVLBI研究の方針に意見や提案がある場合は、上記の委員を通じて本小委員会で議論を行うことが可能である。必要に応じてオブザーバーの出席も認められる。